



令和 4 年 8 月 23日(火) 例会 (第2846回) 報告 (晴) No.2674

出席率 …… 29/37 78.38% 第2844回補正出席率 …… 33/39 84.62% コロナ対策例会

欠席者 川田、島谷、福嶋、堀田、松本(勝)、松本(正)、村山、山崎

メイクアップ(親睦委) 8名 (少年ナイター) 14名

(公共イメージセミナー) 庄司 (理事会) 10名

出席免除 足立、木村、酒井(英)、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 三輪昌輝 会長

コロナの感染拡大が過去にない勢いになり休会を続けたので、今日は約1ヶ月ぶりの例会です。握手タイムも中止していますが、もう少し感染が落ち着けば再開させて下さい。感染予防を継続し節度ある生活をして参りましょう。

先週の18日に青少年奉仕の少年ナイターを行いました。子ども達に貴重な体験を楽しんでもらえて良かったです。

今夏は異常気象だと、気象庁の発表がありました。8月1日には米子市が38.9℃と観測史上最高で、全国2位でした。猛暑が日常となりつつあります。気象災害を想定して、備えておく必要がありそうです。

◆パスト会長時間 庄司尚史 パスト会長 (2011-12年度)

時間が薬になるという「日にち薬」に対し、人と会うことでパワーや情報をもらって元気になる「人ぐすり」という言葉もあります。ロータリーは「超我の奉仕」という理念を持った、各分野の地域のリーダーの集まりです。お互いに元気を出し合って、コロナパンデミックを乗り越えて行きたいと思えます。



北國会員

◆幹事報告 赫 太郎 幹事

◎友末G事務所より「地区大会選挙人選出願い」「R研究会開催と費用負担理解へのお願い」「月信第2号」 ◎岩崎直前G事務所より「月信第13号」 ◎石倉GE事務所より「資料提供願い」 ◎近隣RCより「臨時休会案内」 ◎R日本財団より「寄付金領収書」が届き該当者に配布 ◎8月Rレート1\$=133円 ◎本日例会後「8月定例理事会」開催 ◎次週(8/30)は休会

出席表彰

連続2年 北國恵久 会員



8月誕生日祝い

4日 谷田真基 8日 足立統一郎  
8日 岡空晴夫 26日 中村栄治 各会員



谷田会員



岡空会員



中村会員

◆9月行事予定(基本的教育と識字率向上/ロータリーの友月間)

9/6(火) 例会/定例理事会

— スマイルBOX —

◎誕生祝 岡空、谷田、中村 ◎出席表彰 北國 【大部由美様をお迎えして】喜多村、小林、定秀、庄司、瀬戸、赫、中木、中田 ○卓話、楽しみです。浜田(貴)、浜田(一) ○ロータリーの友、時短でご紹介します。酒井(博) ◎復活して参りました 三輪 ◎少年ナイター、ご協力ありがとうございました。津田 ◎甲子園、下関国際高校64年ぶりの山口県優勝ならず、残念!でも良く頑張りました。素晴らしい戦いでした。 屬

11(日) 米子RC創立70周年記念式典(11時~ANAクラウン)

20(火) 休会(定款7条)

23(金祝) 5RC親睦ゴルフ大会(大山平原GC)主管: 境港RC

◆委員会報告

◎ゴルフ同好会…岡空晴夫 幹事

第1回、第2回コンペの成績発表。優勝・入賞された皆様おめでとうございます。第3回は9/23(金祝)5RCゴルフです。主管ですので、参加と協力をよろしくお願ひします。

◎青少年奉仕委員会…津田純司 委員長

8/18(木)少年ナイターを無事に実施できました。10-9渡スボ少で何とか勝利。子供たち、監督、保護者の皆さんにも喜んで頂けました。参加された皆さん、ありがとうございました。

◎職業奉仕委員会…高瀬裕章 委員長

地区補助金「企業講話」事業に18社から申し込み頂きました。ありがとうございます。9/21(水)の企業見学からスタートします。よろしくお願ひします。

◎「ロータリーの友8月号」紹介…酒井博淳 雑誌・広報副委員長

— プログラム — 「境港から世界へ!!!」

翔英学園はぐくむセンター センター長 大部由美氏

私は、小学2年生までは引越しを重ね、病弱で学校も休みがちでしたが、小学3年の時に渡町に戻り、近くに住んでいた祖母に色々な経験をさせてもらい、学校を一日も休まない子になりました。渡小学校で過ごした4年間は、私の人生の土台になっています。



中学3年の夏前に出場したある大会でのワンプレーがきっかけで、当時の日本代表監督との縁ができ、セミプロの世界に飛び込む決断をしました。チャンスを掴むには人との出会いや決断が必要であり、決断をするためには、日々何かを決断する習慣が必要です。私はサッカーを通じて、そうした習慣を身につけていたからこそ、この時決断できたのだと思います。

その後、私は16歳で日本代表選手に選ばれ、新人賞の受賞やリーグ日本一など、立て続けに色々な目標を叶えることができましたが、17歳から19歳の時には挫折も経験しました。その時に、「自分一人で生きているわけではない」「サッカーは皆でやるものだ」ということに改めて気づかされました。怪我から復帰後は、ワールドカップやアトランタオリンピックに出場し、2004年「なでしこジャパン」でキャプテンも務めました。指導者になってからは、日々前向きなマインドでいることを意識し、良いところを見つける指導を心がけています。

私は、世界を舞台に戦い、その瞬間でしか味わえないガッツポーズ、ハグ、涙を経験しました。世界とはそんなに遠いものではなく、境港にも沢山の可能性があります。6歳児までたくさん体を動かして色々なことをすることで、その子の持つ可能性を広げることできます。そうしたことも子どもたちに伝え、この地域で色々なものを育んでいきたいと思っています。

今回(9月6日)のプログラム

「災害に備える」

日本赤十字社 鳥取県支部 角田 昭生 氏

次回(9月13日)のプログラム

「空飛ぶクルマと交通・物流産業のゲームチェンジ」

日本政策投資銀行 松江事務所 所長 加藤隆宏 氏